

●一斉学習  
■同時進行型

実践タイトル 物語の山場を視覚的にとらえる

本時のねらい

狩りの対象であった、がんの頭領「残雪」を、「がんの英雄」と認めるに至った変容をとらえる。そこで、学習者用デジタル教科書に収録された活用シートで心情の変化を折れ線グラフに表し、視覚的に「山場」をイメージしたり、他と比較して自分の考えを深めことができるようにする。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

自分の考えを他と比較したり、参考にして修正するために、電子黒板で個々のタブレットPC画面を巡回表示したり、拡大したりして提示した。

学習者用  
デジタル教科書

物語の「山場」をとらえるために、「活用シート」上で各場面の小見出しを上下に移動させて折れ線グラフに表し、登場人物の心情の変化を視覚的にとらえたり、繰り返し修正したりすることができるようにした。

参考にしてほしいポイント

学習者用デジタル教科書を使用することによって、筆記では難しい記入後の吟味をPC画面上で自由に修正することができ、逐次、他の児童の考えと比較しながら試行錯誤を繰り返し、教材の読み取りに生かすことができた。

学習の流れ(分)		主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	導入	0 ○これまでに読み取ってきた、大造じいさんの心情の変化を確認する。 ・情景描写にも着目。 10 ○デジタル教科書(活用シート)の使い方を知る。	・電子黒板 ・指導者用デジタル教科書(活用シート)
	展開	○物語の展開に沿って心情の変化を表す。 ・小見出しを補い、それらの位置を上下に移動して配置する。 ・前後で心情が大きく変化しているところが「山場」。 20 ○ペアまたは3人で自分の考えを紹介し合う。 ・自分の考えとその根拠を説明する。 30 ・相手の考えを聞き、自分の考えに修正を加える。	・電子黒板 ・学習者用デジタル教科書(活用シート)(写真1) ・考えがまとまらない児童には、他の児童の進み具合を電子黒板に巡回提示し、参考にさせる。
		まとめ	○自分の考えを発表し、その根拠を説明する。 ・「山場」の定義を確認。 ・比較、意見交流。 45 ○次時の予告。



写真1: 心情の変化を読み取り、活用シートに表す



写真2: 自分の考えを紹介し、根拠を説明する

児童生徒の反応

本学級は、平成22年度から各教科において電子黒板、デジタル教科書、児童用タブレットPC等を活用して授業を行ってきたため、児童も各機器や教材の扱いには慣れてきている。本時においても、教材を有効に活用し、登場人物の心情の変化や「山場」を的確にとらえている児童が多かった。

活用効果

評価の観点	読む能力
具体的変容	心情の変化を視覚的につかめたことで、物語の「山場」をより具体的なイメージとしてとらえることができた。また、自分の考えをタブレットPC上で操作できることが、積極的な試行錯誤につながり、自分の考えをより深めようとする意欲がみられるようになっていった。

実践の手応え

本教材は、大きく変容する人物を中心人物とし、中心人物が作品の展開の中でもっとも大きく変わるところを作品の「山場」と定義して、「山場」をとらえる学習を展開する。作品の「山場」をとらえる学習は、作品全体の構成をとらえることにつながり、その構成の過程において、登場する人物の変容を読み取ることにつながっていく。デジタル教科書に付随する教材を、本時のように活用することで、児童の読み取りを補完することができる。